

芙蓉

vol. 57
2017.7月 発行



社会福祉法人 芙蓉会

〒417-0001 静岡県富士市今泉2220番地
TEL (0545) 52-0402 FAX (0545) 55-1119
<http://www.fuyoukai.org>

児童養護施設	ひまわり園	TEL.0545-52-0402
地域小規模児童養護施設	ひろみ	TEL.0545-22-1281
乳児院	恩賜記念みどり園	TEL.0545-53-5665
特別養護老人ホーム	みぎわ園	TEL.0545-55-1800
ショートステイ	みぎわ園	TEL.0545-55-1877
通所介護	デイサービスセンターみぎわ園	TEL.0545-55-1800
通所介護	ふようデイサービスセンター	TEL.0545-52-1397
居宅介護支援事業	ふよう居宅介護支援事業所	TEL.0545-52-5500
地域包括支援センター	富士市吉原西部地域包括支援センター	TEL.0545-30-8324
在宅介護支援センター	みぎわ園	TEL.0545-55-1811
複合型サービス	みぎわの里	TEL.0545-30-7952

公分母

「社会福祉（事業）事始め」

社会福祉法人芙蓉会理事
日本基督教団吉原教会牧師 芳賀 正治

日本にはじめて来たキリスト教宣教師は、アメリカ人のジェームス・バラ、信徒宣教師では医師のヘボンでした。いずれも横浜の宗興寺を借用して、英語塾や施療所を開設していました。1861年（文久元）年のことです。明治維新の数年前です。これが日本で最初のキリスト教医療事業、あるいは社会福祉事業になります。

これからも分かることは日本の社会福祉事業は外国のキリスト教ミッション（すなわち宣教）から始まっています。そのころの日本は、まだキリシタン禁制の時代でした。日本国内でのキリスト教伝道が政府から禁止されていた時代でした。それで外国の宣教師たちはキリスト教会を開始させるよりも先に、社会福祉事業や医療事業、学校教育事業などを手掛けました。

この20数年後、1887（明治20）年以後に

石井十次氏による岡山孤児院をはじめ、小橋勝之介氏による博愛社などが設立されています。いずれも放置されていたホームレスの子どもたちを黙視できずに、日本人のキリスト者やキリスト教団体による社会福祉事業が始まっています。外国教会が派遣した宣教師たちに影響されていることが分かります。

以上の時代背景から、1903（明治36）年にわたしたちの「富士育児院」が創設されます。創立者の渡辺代吉院長は、青年時代に横浜に出て宣教師のジェームス・バラから教えを受けています。「隣人を自分のように愛しなさい」（ルカ福音書10章27節）という聖書による隣人愛の精神です。現代に、わたしたちは繰り返し創立者の精神に立ち返りたいと思います。芙蓉会の事業のご発展をお祈りします。

みぎわ園

今年度より、栄養士さんがレクリエーションの一環として、ユニットへ直接来て下さり、入居者様と一緒におやつ作り等を実施しています。写真の様子は、グラタンとよもぎ団子です。栄養士さんに直接教えて頂きながら、白玉粉を丸めたり、盛り付けしたりと様々な工程を入居者様と一緒に実施し、皆様で一生懸命作った味はとても美味しく、笑顔に包まれてました。日々の暮らしの中での楽しみとなる事を、今後も多職種連携で実施していきたいと思えます。



たくさん盛りますよ!!
いっぱい食べてね



どう?
この手さばき
上手でしょ



美味しそうに
出来ました!
いただきま〜す

* ふようデイサービスセンター *

野外で
BBQ

私達ふようデイサービスセンターでは、利用者様に日頃体験する事のないレクリエーションを考えています。

最近では5月末にバーベキューを行いました。
ふようデイの駐車場にテントを出し野外でバーベキューを楽しんで頂きました。

皆さん最初は「外に出るのは…」と戸惑っていましたが、ホットプレートの上で野菜やお肉の焼ける匂いに次第に笑顔になり普段は食事を残す事が多い方も、外での空気も手伝ってたくさん召し上がりました。



* みぎわの里 *

はるのばらまつり



バラの香りを求めて「富士を映す緑と水の公園」中央公園へ行ってきました。

咲き乱れる見事なバラに負けず劣らず、笑顔がいっぱい咲き乱れました。



母の日



愛と感謝を込めて
ありがとう♡

* デイサービスセンターみぎわ園 *

5月18日中央公園のバラ園にお出かけしました。

バラが満開で園内を散歩、天気の良い日で気持ちよく散歩が出来ました。

散歩後に鳩にお菓子をあげ、利用者様もお菓子を召し上がり楽しい時間を過ごしました。



ひまわり園



大地



今年のGWは丸火公園でBBQをしました。アスレチックや、ありじごくでは、大きい子も小さい子も楽しそうに遊んでいました。

横浜に出かけてきました。横浜の街並みを感じながら、アンパンマンミュージアムや横浜中華街に行きました。楽しい思い出を作る事ができました。

けやき



銀河



休みの日にみんなで由比港まで釣りに出掛けました。空も曇っていて中々大きい魚は釣れなかったですが、最後までみんなで楽しく釣りをすることが出来ました。

かえで



GWにけやきと合同で須津川へBBQに行きました。川に入ったり、山の中を探検して楽しみました。BBQでお肉も野菜も沢山食べ、デザートには大きなマシュマロを焼いて食べました。

りんどう



今年のGWは毎年恒例、丸火でBBQをしました。

今年は、大地のお部屋と合同でやらせてもらいました。いつもとはまた違ったBBQを楽しむことができました。

さくら



FFCのメンバーが変わり、さくらの子がキャプテンになりました。

いつも、もの静かな子が、がんばっている姿。小さい体で向かっていく子ども…嬉しい成長でした。

ひろみ



ひまわり園、ひろみでは吉原のお祭り「吉原祇園祭」に合わせて子ども達にお小遣いが出ます。子ども達はそのお小遣いを持って夜にお祭りに出掛けるのが、昔からの恒例行事となっています。子ども達も吉原に住む者として「おてんのさん」を楽しんでいます。

ひろみの女の子にとっては、可愛い浴衣を着てお祭りに参加出来るのが嬉しいようです。

みどり園

【4月】

お楽しみ会で原田公園に行ってきました。ミニ運動会をしたり、普段体験できない大きな遊具でたくさん遊んできました。



【5月】

お楽しみ会では、芝生に出て、フィンガーペインティングをしました。顔を絵の具だらけにしなが、ペタペタとお絵かきを楽しみました。



【6月】

「お祭り」
担当のお姉さんと吉原の祇園祭に行ってきました。



「泥遊び」

晴れた暑い日に園庭で、泥遊びを楽しみました。



この度、内藤順敬園長の退職により平成29年4月1日付後任として就任いたしました。前園長は昭和26年4月より富士育児院に入職して以来、通算60年も社会福祉法人芙蓉会に勤務され、昭和48年以来43年間の長きに渡り恩賜記念みどり園の施設長としての役割の他に、全国乳児福祉協議会の会長をはじめとする関係諸機関で様々な職責を果たされました。

大切な時期での施設長の交代で、甚だ微力ではございますが、精一杯努力していく所存です。

昨年、児童福祉法が改正され、児童福祉法の理念が盛り込まれ、家庭に恵まれない子ども達は、より家庭的な環境や、家庭に近い環境での養育を推進するという方向性が示されました。

この法律改正の趣旨を基に、社会福祉法人芙蓉会創立の理念である隣人愛や、前園長が大切にしてきた養育理念を踏襲しながら、新たな恩賜記念みどり園を職員一丸となって構築していきたいと考えております。

今後とも変わらぬご指導やご支援をよろしくお願いいたします。

乳児院 恩賜記念みどり園 園長 内藤好彦

法人本部

自分を愛するように、あなたの隣人を愛せよ」の下、当法人は100年以上の歴史と共に地域に愛され、民間社会福祉としての活動と役割を果たすべく、社会福祉支援を要する人々への相談・援助・支援、地域福祉活動、社会貢献等々に重点をおきながら事業を推進いたしました。

平成28年度は、「社会福祉法等の一部を改正する法律案」の全面施行(①理事等の権限、責任等に関する規定整備、②議決機関としての評議員会の義務付け、③定款、計算書類等の公表)に向け、理事・監事・評議員による検討会を設け整備して参りました。また、労働安全衛生法に基づく「ストレスチェック制度」を実施いたしました。

最後に、昨年に続き新任職員研修で外部講師(坂倉裕子氏)による「社会人の基本と仕事の覚え方、人間関係の基本の心理学、信頼されるコミュニケーション」について学び職員の資質向上に努めより質の高いサービス提供することができました。

児童養護施設 ひまわり園 (定員90名 暫定定員88名)

平成28年度、ひまわり園では「家庭的養護推進計画」に則って、グループ定員の上限を8名とする「小規模グループケア」(幼児～小学生男子)を1か所開設しました。日課や食事などの独自性を持ちつつ、子どもの対応をより個別化し、安心して暮らせる環境の整備に努めました。ゆったりとした時間や空間を持たせたことはゆとりのある生活を子どもにもたらせることにも繋がったと思います。食事場面では何十名もの児童と職員で食べる食堂とは違い、食卓を囲む「団欒」と言えるような時間を持つことができ、子ども同士や子どもと職員の距離を縮めることにも繋がりました。ただ、独自の日課で生活する時間が増えたことで、外部から積極的に関わっていかないと日常の暮らしが可視化しづらいという予想していたことではありませんが課題も見られました。また、一言で「家庭的」と言っても簡単なものではなく、小規模化しても他人同士の集団生活である事には変わりありません。家庭イメージに対する考え方や価値観も多様です。そうしたことに対する職員間での意見のすりあわせも継続的に進めていく必要があります。

一方で、高齢児処遇に大変苦労した1年でもありました。中高生の中には施設生活に対する不満から、ルールを逸脱する行動や職員に対して反発を露わにする子どももあり、支援にあたる職員を悩ませました。集団生活における日課においても「ルールが厳しい」「普通の家と違いすぎる」などの不満を持つ者同士の結びつきが強くなり、施設のルールや職員の指導に反目し、反社会的行為を含む自らの問題行動に関して「家に帰ればもっと自由なのに施設だから自由がない」と全ての責任を転嫁して、自己の課題に背を向けてしまうという問題も多く見られました。ただ、職員側にも特にアカウンタビリティとアドボカシーという点において十分な責任を果たせなかったのではないという反省もあり、そうした課題が互いの信頼関係の脆弱化に繋がってしまったということも否めないと考えます。また、入所している子どもたちの背景も昔と違い、現在は身寄りのない子どもはほとんどおらず、大半の子どもが多少なりとも保護者との交流があります。しかし、中には保護者の協力が期待通りに得られないケースもあり、結果的にひまわり園での子どもの安定した暮らしを壊してしまうような問題もありました。

家族のあり方や価値観が社会情勢と共に日に日に変化していく中、家庭生活と施設生活のギャップが拡大しているということもこうした問題の背景にあるということも考えられます。核家族化、少子高齢化、共働きの増加、ひとり親家庭の増加など、子どもを取り巻く家庭の形態も生活習慣も大きく変容してきている中で、児童養護施設のあり方そのものが問われています。「家庭的な環境とは何か」を模索していく視点と、現存する集団養護の持つ強みを活かす視点とを併せ持った支援のあり方を今後も模索しつづけなければなりません。

地域小規模児童養護施設ひろみ (ひまわり園加算事業)

平成28年度、「ひろみ」は地域小規模児童養護施設の指定を受け(承認年月日:平成27年4月1日)、本体施設の支援のもと、24時間体制で入所児童の安全・安心の確保に努めました。

平成28年度は、小学生1名、高校生3名、短大1名でのスタートとなりました。10月に小学4年生女子が新しく入所しました。ひろみでは地域の中での生活体験を基盤に、家庭的な環境の中で、より個別的な関わりを持っていくように努めました。高齢児が多い為、出来る限り子どもが日常生活において主体的に考え、取り組むことが出来るよう心掛けて支援しました。新しく入所した児童につきましても、ひろみでの生活や学校生活を落ち着いて送れるように、児童相談所や学校と連携し支援してきました。

地域との関係を大切にすることを心がけました。地域活動への主体的な参加をすると共に、日常の中での地域住民の方々との交流を大切することを意識しました。例年同様に、地域の防災訓練やバーベキュー、運動会等の行事では主体的に参加しました。

地域で生活しているの、地域の子どものトラブルや、子どもの行動で地域の方々にご迷惑をかけることがありました。その際に関わりのなかった地域の方々と接することがありましたが、「近くにそういった施設があるなんて知らなかった」と話される方が多く、まだまだ認知されていないことを痛感しました。

また今年度は地域の福祉に関するイベントに積極的に参加致しました。里親会が主催するフォーラムでは、ひろみ職員が意見発表をさせて頂きました。そこでは現場職員が実際に感じている地域小規模施設の現状や課題、ひろみが培ってきた実践的な知識を発信することが出来ました。そういったイベントを通して、福祉に関心をも

つ地域の方々と関わることが出来て、実際にひろみにボランティアに来て下さる方もおりました。

恩賜記念みどり園 (定員30名:暫定定員26名)

平成28年度は暫定定員26名で事業を実施しました。年間の充足率は、定員換算で65%、(暫定定員では75%)受け入れた乳幼児の内訳は措置入所7名(内3名は一時保護からの切替)、一時保護16名、富士市のショートステイ5名、計28名でした。児童福祉法の改正で、乳幼児の養育は家庭的な環境の基で行われることが原則とされた影響か、措置入所する児童は減少していますが、入所依頼当日の受け入れを希望する緊急一時保護が増えています。特に21時以降に打診があり、当日の深夜に保護するケースが増えています。

深夜の受け入れは病院の診察時間外なので、健康診断が受けられず、感染症の潜伏期間であること等を想定しての対応を行います。受け入れのリスクは計り知れず、緊急一時保護があると夜勤者は仮眠や休憩がとれません。

平成28年度は病虚弱児の入所が多く、食物アレルギーのある子ども達への対応や、夜間の入院等の緊急対応が増えました。喘息等の既往がある乳児を受け入れたところ、気管支喘息や肺炎等で6ヶ月間に9回、延べ114日間の入院、深夜の緊急搬送や、三次救急病院への転院などの対応が必要でした。このケースで当園での入院児数が前年の46名から146名に、入院率は前年の0.54%から2.06%、約3.6倍に急増しました。

また、発達がゆっくりで、3歳を過ぎても児童養護施設への措置変更が難しい幼児が年度当初3名在籍しておりました。1名は5歳を過ぎており、障害児施設への措置変更を待っていたのですが、「幼稚園生活を体験させたい」という担当養育者の想いに職員が団結してサポートすることになり、幼稚園生活の先方のご協力を得て、平成28年4月から正式に幼稚園の年長クラスに入園することができました。入園当初は職員が付き添い、午前中のみ通園でしたが、6月には一人で幼稚園での全ての日課を過ごせるようになりました。児童養護施設への措置変更の日程が決まり、約半年の時間を掛け、延べ25回の安心を繋ぐための交流を行って措置変更を行いました。措置変更先の児童養護施設から、園の生活や、新しい幼稚園にも早く馴染むことができたという報告もあり、乳児院で培われた安心感や自己肯定感を損なうことなく次の居場所へ繋ぐことが、私たちがお預かりした子どもにできる最大の使命であることや、職員が諦めずに努力を継続することで、子ども達の可能性が開けていくことも改めて学ばせてもらいました。

退所児童は7名、児童養護施設への措置変更率は57.1%、きょうだいケースを2組措置変更することができました。家庭復帰率は28.6%、里親委託率は14.3%、残念ながら措置児童の家庭復帰率は年々減少傾向にあります。

職員研修では、職員間の意思疎通をより強固なものにするために、前年は副主任以上の指導担当職員を対象にビジネスアサシオの研修会を、全職員を対象として全6回のコースで開催しました。

当園の最大の課題である看護師の充足の問題ですが、平成28年度は常勤看護師1名と非常勤の看護師4名で業務を行っておりましたが、常勤看護師3名ではなかったので、小規模グループケア等の加算が受けられず、財政的にも苦しい状況でしたので、常勤看護師を増やせるように募集を継続しています。

特別養護老人ホームみぎわ園

平成28年度は全体事業として、比較的安定した事業内容であったと思います。特養部門について入所基準の介護度Ⅲ以上の入所を原則とする指針に基づいた結果、当初懸念されたように新規入居の方々も身体的重度化が顕著であり、その心配が入居者の疾病への要看護を強く必要とする特養の入居生活の部門でありました。

この結果、在籍期間が比較的短くなる傾向が見受けられます。(平成27年以前2.4年、平成27年以後0.11年)在宅系サービスにおいては、各事業提供責任者の努力により安定した稼働実績がありました。ただ年明け1～2月にかけ感染症流感の影響でショートステイの利用を一時休止した事態もあり、時季を見据えた利用者への対応(予防処置等含め)が必要で反省する処でありました。また包括支援センターとしては、年度当初より富士市が独自に始めた「介護予防・日常生活支援総合事業」(介護予防提供プラン)に振り回されながらも試行錯誤の中、実績を上げてきました。よろず相談的な存在の中でも業務内容を整理しつつ取り組んできたと思います。

全体の事業経営面からは、年間を通して介護人材の不足があり人件費の伸びがなく、現場への負担が大きかった点であります。このような中でも「人を育てる」を基本とした人材育成に努力がみられ、新人教育、資格取得研修、関連施設見学研修等必要とする資質の向上と充実が図られました。

年度後半には、介護環境整備の導入と職域資格制の改定、介護勤務負担の軽減を柱とした勤務体制変更を実施しました。資格職の業務(資格)手当の変更と整備、長時間夜勤労働からの脱却を図るべく夜間勤務の16時間拘束から8時間夜勤制へと勤務編成を変更し、準夜深夜勤の夜間2交代制と日勤3交代制に改編し現在試行中であります。一般経費の関係では、光熱水費特に都市ガス料金、電気料等3ヶ年計画でのLED化、天然ガスの価格調整等が当初予想した大物経費の削減へと繋がり、当該年度経費削減目標をクリアしたと判断しています。収入支出のバランスから収入益も図られ、次期中期計画への原資として施設整備積立金の組上げを実施しました。

ただ介護人材の確保が急務であり、引続き立人材補充の対策を講じてこの対処を進めていく努力を図るとした報告であります。

ありがとう

当法人にたくさんのご寄付をいただきありがとうございました。
お礼を申し上げここに紹介させていただきます。(敬称略)

青山百合子、あざみの会 野上由紀子、(株)ウラタモーターズ、内海哲也ランドセル基金運営事務局(株)デジタルライズ、圓妙寺
沖本洋子、落合一彦、小穴菅登、落合 理、加藤美奈子、勝又長見、金子圭介、久能幹夫、(株)クレヨンハウスmorimotoプロジェクト
(株)コヤマ・ミライエ、コンビ(株) 代表 五嶋啓伸、志藤好彦、(福)静岡県共同募金会ジャトコ(株)、白井君子、鈴木重勝、須津サッカー
スポーツ少年団26年度育成会 会長 長荻田芳一、清靖雄、(株)大信 大韓家 朴 信愛、(有)ダスカジャパンクアウテモック
地方紙正月連企画係、塚原 恵、土屋医院 土屋厚子、伝心寺、(有)藤栄堂、戸巻ひさ子、戸巻紀美子、ドウランゴ志帆、内藤順敬
内藤恵美子、中田泰生、仲神洋子、新見裕記、野村幹三郎、花みずき法律事務所 谷川樹史、平林さち子、富士市社会福祉協議会
プレミアム・ラワット日本事務局 合同会社文屋 代表 木下豊、堀川ちと子、松本芳泰、松本玲子、マルハン鷹岡店、マルコム(株)
妙立寺、NPO法人 ゆめ・まち・ねっと 代表 渡部達也、若菜仁美 (H29.3.1~6.15)

新入職員紹介

みぎわ園



山本 真千



芦澤 久代



福島 晴美



蓮池 邦恵



小林 ユカ



赤星 信子



鈴木 明彦



武井 聖一郎

みぎわ園



河内 大輔



神田 泰志



桑原 照美



鈴木 茜



鈴木 蒼



渡邊 京子



田中 紅葉



戸練 香実

みどり園

ひまわり園

後援会からのお知らせ

多くの方々から後援会費を送金いただき、心より感謝を申し上げます。また新規のご入会も随時受けつけております。子どもたちのため、おとしよりのために、あたたかいご支援いただけますよう、ご入会をお願いいたします。

会費の振込先は下記の口座にて承ります。

年間会費 } 1□ 1,000円 会 社 } 1□ 3,000円
個人会費 }

振込先(郵便局振替口座)

□口座番号 00880-0-2423 □口座名称 芙蓉会後援会

何□でも
結構です

他の金融機関からのお振込を受ける際にご指定いただく口座情報は、右記のとおりとなります。

銀行名 ゆうちよ銀行
店 名 O八九店
預金種目 当座
□口座番号 0002423
□口座名義 フヨウカイクウエンカイ

寄付のお願い

芙蓉会は、皆様方のご支援に支えられながら今日を迎えております。一人ひとりの想いのこもったご寄付は、社会福祉事業を推進していく上での大きな支えとなっております。年間を通して寄付金をお受けしておりますので、何卒ご協力の程よろしくお願い致します。

今後とも変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

振込先

銀行名 静岡銀行 吉原北支店
預金種目 普通預金 □口座番号 0817169
□口座名義 社会福祉法人芙蓉会 理事長 戸巻芙美夫
シャカイフクシホウジンフヨウカイ
リジチョウ トマキフミオ

ボランティア紹介

今年度もひまわり園では、たくさんのボランティアの方々にご協力をして頂いております。今回は、小学生に学習を教えて下さっている方をご紹介します。

毎週木曜日に来て下さっている、深澤良子様です。毎時間丁寧に教えてくださり、本当にありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。

首安箱

(H29.4月~6月)

※今回、他の施設はありませんでした。

●ひまわり園

内容：下校途中に小学生が蹴った石が通学路のお宅のドアにあたってしまいました。

回答：大変申し訳ありません。今後このような事(対策)が起きないように、指導させて頂きました。

編集後記

梅雨の時期になりました。今年の梅雨は、平年より雨量が多く、蒸し暑い日が続くそうです。これからの時期、熱中症の危険性も高まるので、水分補給を心掛け、健康管理に気をつけていきたいですね。